

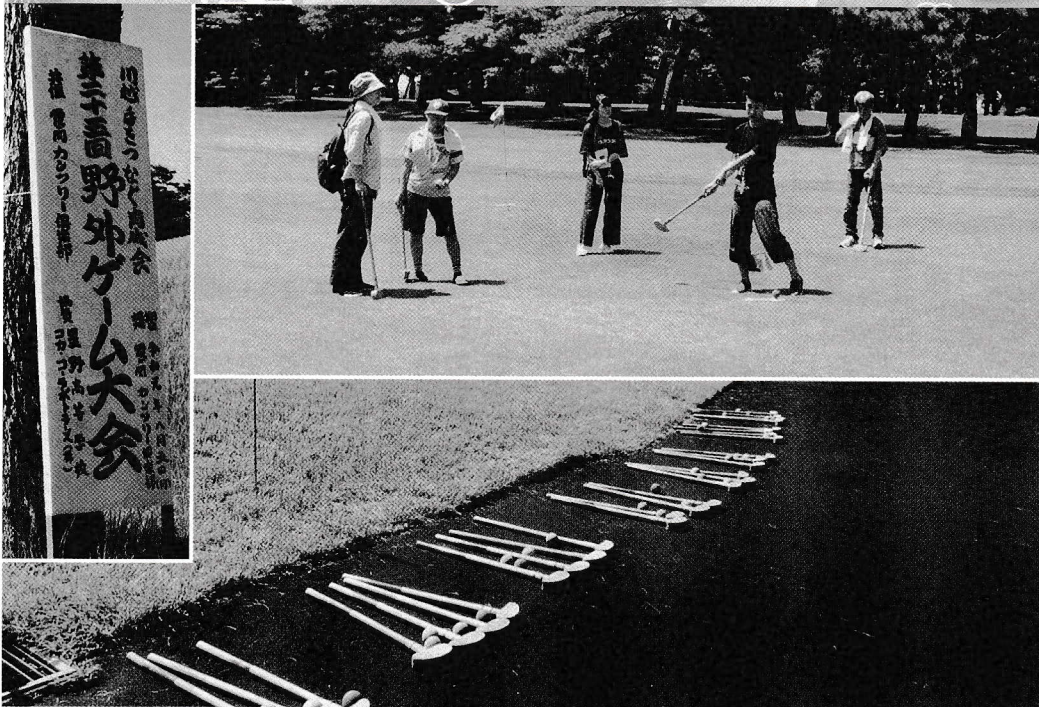
あけましておめでとうございます

令和2年 元旦

川越

親の会通信

発行者 川越手をつなぐ育成会 事務局 川越市小仙波町5-12-3 TEL 226-3223



第23回野外ゲーム大会 (霞ヶ関カンツリー倶楽部 西コース) 令和元年8月5日(月)

昨年11月9日、第53回手をつなぐ育成会関東甲信越大会埼玉大会(併催第56回埼玉県手をつなぐ育成会県大会)が、浦和埼玉会館にお



この新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素は育成会運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。 「かわいくカフェ」を、昨年5月から毎月第3火曜日に開催しています。仲間と会う楽しさや笑顔と会話でお互いに自分の思いを伝えて、語り合う場所を目指して活動しています。地域の皆様どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。



川越手をつなぐ育成会 会長 遠藤 政子

明けておめでとうございます

明けておめでとうございます。令和になり初めての新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素は育成会運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

いて開催され、当育成会からも14名が参加し研修してまいりました。テーマは「この子らを世の光に」～ノーマライゼーションの原点に立って～で、これからの育成会は、ネット社会の今だからこそ人と人とのつながりが大切、等の内容の充実した研修でした。今後の育成会活動に生かしてまいります。

今年も、皆様と相互に気兼ねなく話せる「新年会」「調理実習」「ボウリング大会(2月9日)」「等を実施してまいります。参加お待ちしております。

これからも、会員同士の「和」を大切に、よき地域社会になるよう、和やかな仲間づくりを目指してまいります。そして、障害があっても「幸せな人生」が送れるよう、豊かな地域共生社会になるよう頑張ります。また、一緒に活動する仲間も募ってまいります。

本年も、会員の皆様と力を合わせ、会の運営に努力をしてまいりますので、地域の皆様のご支援よろしくお願いいたします。

第23回 野外ゲーム大会

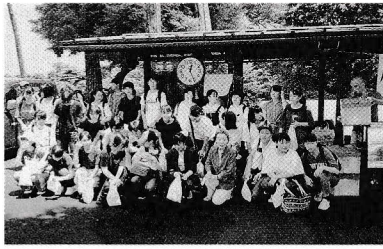
霞ヶ関
カントリー倶楽部

昨年も、霞ヶ関カントリー倶楽部様のご好意で、8月5日(月)午前8時30分より、西コースにおいて第23回野外ゲーム大会を開催いたしました。

当日は、60名の参加者と100名余りの大勢のボランティアなど、総勢172名での開催となりました。

緑の芝生が美しい中を各グループに分かれてゲームを楽しみました(グラウンドゴルフ8ホールとお楽しみゲーム8力所)。

そして、ゲーム終了後は、星野高校吹奏楽部ウインドオーケストラの生演奏によるアニメソング等のリズムにのって、手拍子や身体を動かしたりし、大変楽しいひと時を過ごすことができました。



最後に霞ヶ関カントリー倶楽部様より、お菓子とジュースのおみやげをいただき、笑顔の一日になりました。



●参加者より (敬称略)

山崎 稔

一番印象に残っているのは、芝生の緑がとてもキレイだったことです。晴天にも恵まれ、子どもと一日有意義な時間を過ごすことができました。

霞ヶ関カントリー倶楽部という特別な場所での開催を計画、準備してくださった多くの方々にも感謝します。暑さが心配されましたが、沢山飲み物の提供があり、ありがたかったです。来年はオリピック開催のため、霞ヶ関カントリー倶楽部での開催はないとお聞きしましたが、機会があればまた参加したいと思います。



星野高等学校
佐藤 歩美

育成会の野外ゲーム大会は、私にとつてたくさんのお話を学べた有意義な時間でした。私は、障がいのある男の子達とその保護者の方と一緒にグラウンドゴルフやゲームをしました。

今まで障がいのある子達とどう接すればいいかわからず、初めはあまり話しかけることができません

でした。でも、男の子がセミを見つけて楽しそうにしている姿を見て、私の小さい頃と同じだなと思ひ、その後は積極的に話すことができました。

私は今まで、障がいのある子達を一括りに考えていましたが、まったく違いました。障がいのある子という、その子の一部分だけを見るのではなく、一人ひとりとちゃんと向き合う大切さを学びました。



この経験を通して、今まであまり私が関わってこなかった障がいのある子達と、もっと仲良くなりました。私も思いました。仮に嫌がられたとしても、その子の一つの個性として認め、他の障がいのある子達との関わりをやめることはしません。これからもお互いが楽しめる、今回のような活動に積極的に取り組みたいです。

県立川越西高等学校

竹崎あゆみ
武田 唯

今回はこの野外ゲーム大会のボランティアに参加させていただきました。今私たちは高校3年生で、進路に向かって一番重要な時期です。保育関係の進路を目指していて、ボランティ

アでは普段交わることがない年代の方とも関わる事ができて、とても新鮮でした。今でも沢山のボランティアに参加させていただきました。福祉ボランティアは過去にも行ったことがありましたが、行きたび、お話をするたびに自分の知らなかったことを知ることができ、できません。思っていたことも普通でできたりする時、自分はその子の可能性に上限をつけてしまっていると感じ、自分の考えの浅はかさ気付かされます。体が不自由でもこんなことができることがある、とても楽しそうに自由にしている姿を見ると、自分自身できないことと決めつけてチャレンジすることすらしてなかったと思います。ハンデがあるなしに関わらず、自分のやりたいことをできることが、とてもかっこいいと思いました。

今回のボランティアでも沢山の方と関わる事ができて、私たちも楽しく充実した時間を過ごすことができました。今後このようなボランティア活動を通して、沢山のひとと関わり、新しいことにチャレンジしてみたいと思います。



かわいくカフェ 開催中!!



かわいくカフェは、毎月第3火曜日の10時～15時に開催しています。時間内自由参加で、情報交換などの楽しい会です。昨年は左記のような活動を行いました。

5月21日 参加者：8名

自己紹介、今後の活動とイベント企画

6月18日 参加者：8名

名札ケースデコレーション

7月16日 参加者：4名

8月のイベント「ついでに」の練習

8月20日 参加者：4名

「ついでに」最終打ち合わせ、HP、facebookでの発信について

8月25日 参加者：21名

「ついでに」イベント開催
参加者の感想

初めて体験したついでに踏み。生地が柔らかくて足の感触がおもしろかった。ツルツルしたうどんはとてもおいしくて、たくさん食べました。



た。皆と一緒に食べるのがまた楽しかったです。

9月17日 参加者：4名

今後の活動についての話し合い
参加者の感想

かわいくカフェでの和のスィーツ。普段なかなか食べれない手づくりおやつで、その季節の旬のものをいただきました。



10月 お休み

11月19日 参加者：3名

子ども作成の染め絵&イラストと母のちぎり絵で木と動物たちのアート作成

12月17日 参加者：4名

子ども作成の染め絵&イラストと母のちぎり絵で木と動物たちのアート作成。次回かわいくカフェスペースに飾る



かわいくカフェでは、こういった活動や話し合いをしたり、手をつなぐ育成会からの情報をいただくことで、まずお母さんたちが癒し合い、笑顔を増やして、それが家庭での子どもたちとのコミュニケーションを、心に余裕を持つてできるよう開催しています。来年からは、歌やファブリックデコレ(針・糸を使わない小物の

みる・かく・よろこぶ 自由なところで 2020年度「手をつなぐ」 表紙絵募集



『手をつなぐ』では、今年も2020年度の表紙絵を募集します。障害のある方が描いた作品であれば、どなたでもご応募いただけます。

『手をつなぐ』の表紙が、障害のある人たちからの応募作品でかざられるようになって、30年以上。

その間、数え切れないほどたくさんの作品をご応募いただきました。

これからも、『手をつなぐ』は、みなさんの作品を表紙に掲載していきたいと考えています。

ご家庭で、通所先の事業所で、学校で…。

さまざまな場所で描かれた作品を、お送りください。

とてもすてきな作品なのに、薄い鉛筆で描かれていたり、色紙に描かれていたりして、採用できない作品も毎年たくさんあります。

応募要項をよくご確認のうえ、ご応募ください。

応募締め切りは **2020年4月30日(木)必着** です。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ

川越手をつなぐ育成会

☎049(226)3223



装飾、ア
マケアな
ど、お母
んたちの
意分野を
かしたり、
ご協力い
ただける
たちによ
イベント
ますので
ぜひ皆さ
お待ちし
います。

交流誌「手をつなぐ」購読のお願い

「手をつなぐ」は全国手をつなぐ育成会連合会が編集、発行している元気の出る情報・交流誌です。当事者(本人・家族)の諸権利を守り、政策などの情報、全国の仲間との交流を中心に発行しています。

毎月発行 A4版 48頁

購読料 1年間 3,900円

半年間 1,950円〔1冊 400円〕

お申込み 川越手をつなぐ育成会

TEL・FAX 049-226-3223

第23回 野外ゲーム大会

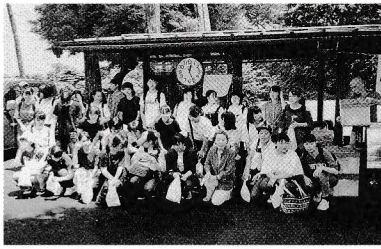
霞ヶ関
カンツリー倶楽部

昨年も、霞ヶ関カンツリー倶楽部様のご好意で、8月5日(月)午前8時30分より、西コースにおいて第23回野外ゲーム大会を開催いたしました。

当日は、60名の参加者と100名余りの大勢のボランティアなど、総勢172名での開催となりました。

緑の芝生が美しい中を各グループに分かれてゲームを楽しみました(グラウンドゴルフ8ホールとお楽しみゲーム8力所)。

そして、ゲーム終了後は、星野高校吹奏楽部ウインドオーケストラの生演奏によるアニメソング等のリズムにのって、手拍子や身体を動かしたりし、大変楽しいひと時を過ごすことができました。



最後に霞ヶ関カンツリー倶楽部様より、お菓子とジュースのおみやげをいただき、笑顔の一日になりました。



●参加者より (敬称略)

山崎 稔

一番印象に残っているのは、芝生の緑がとてもキレイだったことです。晴天にも恵まれ、子どもと一日有意義な時間を過ごすことができました。

霞ヶ関カンツリー倶楽部という特別な場所での開催を計画、準備してくださった多くの方々にも感謝します。暑さが心配されましたが、沢山飲み物の提供があり、ありがたかったです。来年はオリピック開催のため、霞ヶ関カンツリー倶楽部での開催はないとお聞きしましたが、機会があればまた参加したいと思えます。



星野高等学校
佐藤 歩美

育成会の野外ゲーム大会は、私にとってたくさんのごを学べた有意義な時間でした。私は、障がいのある男の子達とその保護者の方と一緒にグラウンドゴルフやゲームをしました。

今まで障がいのある子達とどう接すればいいかわからず、初めはあまり話しかけることができませ

でした。でも、男の子がセミを見つけて楽しそうにしている姿を見て、私の小さい頃と同じだなと思ひ、その後は積極的に話すことができました。



私は今まで、障がいのある子達を一括りに考えていましたが、まったく違いました。障がいのある子という、その子の一部分だけを見るのではなく、一人ひとりとちゃんと向き合う大切さを学びました。

この経験を通して、今まであまり私が関わってこなかった障がいのある子達と、もっと仲良くなりたいたいと思ひました。仮に嫌がられたとしても、その子の一つの個性として認め、他の障がいのある子達との関わりをやめることはしません。これからもお互いが楽しめる、今回のような活動に積極的に取り組みたいです。

県立川越西高等学校
竹崎あゆみ

武田 唯

今回はこの野外ゲーム大会のボランティアに参加させていただきました。今私たちは高校3年生で、進路に向かって一番重要な時期です。保育関係の進路を目指していて、ボラン

アでは普段交わることがない年代の方とも関わることができて、とても新鮮でした。今でも沢山のボランティアに参加させていただきました。福祉ボランティアは過去にも行ったことがありましたが、行くなかつたことを知ることで、知らなかつたことを知ることができそうです。できないと思つていたことも普通にできたりする時、自分がその子の可能性に上限をつけてしまつていないと感じ、自分の考えの浅はかさや気付かされず。体が不自由でもこんなことができることがある、とても楽しそうに自由にしている姿を見ると、自分自身できないことと決めつけてチャレンジすることすらしてなかつたと思ひます。ハンデがあるなしに関わらず、自分のやりたいことをできることが、とてもかっこいいと思ひました。

今回のボランティアでも沢山の方と関わる事ができて、私たちも楽しく充実した時間を過ごすことができました。今後もこのようなボラン

ティア活動を通して、沢山のひとと関わり、新しいことにチャレンジしてみたいと思ひます。

